

平成29年度第3回福井県医療審議会 議事概要

日時：平成30年3月26日（月）

19：00～20：45

場所：福井県国際交流会館 2階 第1・2会議室

議事（1） 第7次福井県医療計画（案）について

事務局から資料1-1、1-2に基づき説明

○主な質疑

（委員）

- ・地域医療構想の目標となる必要病床数は、現在の病床数を減らしていく方向だが、第7次医療計画で見直しを行い再算定した基準病床数が、第6次計画より増加しているのはなぜか。これまでと方向性が合わないのではないか。

（事務局）

- ・国の方針に基づき、療養病床から在宅医療に移行する数をより実態に近づけた結果、前回よりも移行する数が減少し、結果として基準病床数が増加した。なお、全国的に基準病床数は増加している。また、他県では基準病床数が既存病床数を上回ってしまったところもあるが、本県では従来どおり既存病床数が基準病床数を上回っており、これまでとの矛盾は生じていない。

（委員）

- ・地域医療構想の必要病床数については、推計値であって目標値ではないと日本医師会でも議論があった。2025年にその数字になるか分からないが、推計値をもとに医療機関同士が協調しようというものである。

議事（2） 地域医療構想の推進について

事務局から資料2に基づき説明

○主な質疑

（委員）

- ・県内の医療資源の効率化に向け、特に公立・公的医療機関において、再編やネットワーク化を検討してほしい。

（委員）

- ・公立と公的の医療機関の再編は、経営母体が違うため、例えば公立病院同

士の再編とは異なる。

(事務局)

・県内の公立・公的の4大病院の役割分担や連携について、協議していく。

(委員)

・地域医療構想について、専門家の話合いも必要であるが、県民に分かりやすい情報の提示も必要である。県民自ら、健康長寿社会をいかに獲得するか考えることが重要であり、シンポジウム等も開催すべきではないか。

(事務局)

・第7次医療計画の中でも、県民目線の施策が必要として、公開講座の実施等について計画している。

(委員)

・地域医療構想は、官民関係なく各医療機関が将来の方向性を示して、すり合わせをしていく段階にきている。それを情報公開することで、県民にも本県の将来の医療の姿について考えてもらえるのではないか。

報告(1) ジェロントロジー共同研究(第2期)

在宅ケアモデルの構築と全県展開について

事務局から資料3に基づき説明

○委員質疑なし

報告(2) 第6次福井県医療計画の進捗状況について

事務局から資料4に基づき説明

○委員質疑なし

報告(3) 地域医療介護総合確保基金について

事務局から資料5-1、5-2に基づき説明

○主な質疑

(委員)

・基金事業のメニューの中に、メンタルヘルスケア関係の事業がないため、追加を検討してほしい。